

おおづまち議会だより

0ZU

2024
106号

今月の定例会は

12月	3月
9月	6月



本会議動画配信
配信中



議会だよりが
読めるアプリ



議会活性化イベント「Cafe de 議会 with 福祉まつり」
議場見学での1枚

議会を観ての生の声

12月定例会の傍聴者数のべ26人、ライブ配信再生回数897回 録画配信再生回数162回(1/15時点)

気軽に傍聴、町の情勢に関心を寄せたい



まつなが さちこ
松永 幸子さん
(高尾野)

定年退職後、生まれ故郷、大津町に40数年ぶりに帰ってきました。現役中は市報が発行されると、市民の皆様からの問い合わせがあり、必ず目を通すようにしていました。朝から新聞にも目を通して出勤していた習慣で、現在も広報「おおづ」、新聞は欠かさず目を通していますが、現役時代と違って「朝見た新聞の記憶がちょっと怪しくなっているかなあ」(笑)

大津町を理解するには全世帯に配布される広報「おおづ」「議会だより」は町からの情報発信であり毎月見えています。現職中は中々議会傍聴に行く機会がありませんでした。今回12月定例会を妹と傍聴いたしました。氏名・住所を記入し、出入自由で思ったより「気軽に傍聴」ができました。議場に入り定刻になると議長の開会宣言で開始され、①子育てしやすい町づくり、町内公園の管理、子育て・健診センターについて②今町民の関心事である「半導体産業が地域社会に悪環境が及ばないのか」の一般質問、現地視察・調査・資料準備をされた2人の議員さんの質問に対し、執行部の答弁だったように記憶しています。リモートでも視聴できる様ですが、議案審議をされる委員会の傍聴など、今後も町の情勢に関心を寄せたいと思います。

台湾と違う真剣な議会の印象



りん いくじょ
林 育汝さん

議会傍聴は外国人でも今の政策の動きを知る良い機会です。職場の同僚から頼まれて大津町役場に行ったことがきっかけで、日本で初めて議会を傍聴しました。台湾の、賑やかでちょっと混乱した議会と違い、議場では真剣な態度で説明と質問をする様子に感服しました！

一番興味があるのは、やはり交通に関する政策です。半導体工場の建設に伴い、今後、大津町・菊陽町・合志市の外国人が増えるでしょう。これから車の渋滞問題の解消プランは大津町議会の皆様に真剣に解決策を考えてもらえることを期待しています。

↓ 皆さまの声を寄せください！

切り取ってお出ください

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたいくなるような「アイデア」があればお寄せください。

資料の郵送

(○で囲んで下さい)

希望する



お聞かせください あなたの声

皆さまの議会に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

いただいた議会に対するご意見につきましては、今後も議会改革、政策立案、政策提言等に生かしてまいります。

頂戴した個人情報(氏名、住所、電話番号)は、ご本人の許可なく関係部署へ提供いたしません。



※本紙2~3ページの「議員のなり手不足対策」の記事にある「議員報酬見直しに関する説明資料」の送付を希望される方は、右のハガキ下の「希望する」に○をつけ、お送りください。(郵送のため表面の「ご氏名・ご住所」を正確にご記入願います。)

UD
FONT
馬やまみまぢかえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

この議会だよりは、リサイクル推進のため再生紙を利用しています。

議会活性化特別委員会

議員の「なり手」

～次は

不足対策」に取り組みます。

「投票」ができる選挙に!～

[現在の議論の状況]

令和5年9月に設置された議会活性化特別委員会では、議員の「なり手不足」への対策の観点から、下の4項目について議論を重ね、実現に取り組んでいます。

これらの4項目は「議会活性化検討会議」（議会だより6月号・12Pで紹介）の答申を踏まえたもので、現在の取り組み状況は下のようになっています。

	「活性化検討会議」の答申	議会活性化特別委員会の取り組み
町民との接点 (議会の見える化)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議会ホームページの充実 ○ 議員の日常活動の報告の場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Café de 議会(下記)を開催(継続の中で議会の見える化を) ○ 議会ホームページの構想
議員定数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現状の維持が必要 ・ 議員数を減らすことによって生じる弊害も認識 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議員報酬を増額する場合には、定数を削減するべきかについて議論を継続
議員報酬	<ul style="list-style-type: none"> ○ 増額を検討。特別職等報酬審議会での議論を求める ・ 並行して議員活動の見える化に取り組むことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議員報酬の見直しについて、左記審議会での検討を依頼 ○ 議会として、議員報酬の見直しの必要性を住民に説明する
政務活動費	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慎重に検討 ・ 議員報酬の動向を踏まえ再度議論 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 答申のとおり

“Café de 議会 with 福祉まつり”を開催

昨年10月15日(日)、福祉まつり実行委員会が主催する「福祉まつり」に合わせ、議会独自のイベントとして「Café de 議会 with 福祉まつり」を開催し、300人以上が来場しました。

役場庁舎4階の議場の開放の他、4階ロビーでは議会の仕組みや役割の紹介、「なり手不足対策」のための取り組みなどについてのパネル展示や意見交換を行い、来場者にご意見をいただきました。

議場には、多くの親子が見学に訪れ、議席や議長席に座ってみたり、場内モニターに映った自分の姿を見て楽しんでいました。

このイベントは、議会の「見える化」の取り組みのひとつで、今後も内容を充実させ、もっと議会の活動を知っていただけるよう継続していきたいと考えています。



[議員報酬の見直しに向けて]

議員報酬の低さは議員のなり手不足の大きな要因です。大津町でも増額が必要だと考えていますが、議員等の報酬の見直しについては「特別職報酬等審議会」の審議が必要であることからその実施を求めているところです。

また一方で、この内容については議会として町民の皆様にもきちんと説明することが必要と考え、説明資料をお示ししたうえで、ご意見をいただけるようお願いしています。

説明資料の提示とご意見募集について

- パソコン・スマホなどご利用の方：右のQRコード、または町ホームページから、下のリンクをたどってご覧ください。
(町HPトップページ→「大津町議会」→「特集 議会活性化特別委員会」)
- 紙の資料が必要な方：本紙巻末のハガキで請求してください。(郵送)
※ 意見交換会の開催も予定しておりますが、まだ詳細が決まっていません。決定後に町のSNSや公式LINEでお知らせします。



問：議員のなり手不足解消のため、議員の報酬を増額することをどう思いますか？

選択肢	回答数
必要	16
効果があるなら増額すべき	41
わからない	25
効果があっても増額すべきでない	2
効果はないと思う	1
無回答	3
計	88

Café de 議会 with 福祉まつりアンケートより

志は高く、ハードルは低く

第1回 議員の仕事は？

次の大津町議会議員選挙まで約1年となりました。前回のような無投票選挙を繰り返さないよう、少しでも多くの方に「その気になってもらう」ため、4回にわたり「もし立候補するなら、どんなことを知りたい？」にお応えするコラムを連載します。

第1回目の今回は「議員の仕事は？」です。

議員の仕事は大きく分けて、「①議会活動」「②議員活動」の公的なもの、「③その他の個人活動」に分けることができます。

- ①の議員活動は議員が議会の一員として行う中心的な仕事です(筆者の場合、令和5年は52日)。
- ②の議員活動は、議会活動を行うために必要な日常の活動や、議員として地域・町民から期待される役割です。この仕事量は人により大きく違いますが、それも議員という仕事の特性でもあります。
- ③の個人的活動は議会・議員の仕事とは切り離して考えるものです。

今後の掲載内容(予定)

- 第2回 選挙にはどのくらいお金がかかる？
- 第3回 立候補の手続きは大変？
- 第4回 選挙運動ってどうやるの？

① 議会活動

- 本会議、各委員会、全員協議会への出席、議員・委員派遣への参加など
- 随時開催される会議等への参加
- 議会としての住民との対話(懇談会・意見交換会等)
- 研修会参加、視察の受入れなど

② 議員活動

- 議会活動に付随する活動(議案の精読、一般質問・質疑・討論の準備、調査・研究等)
- 議員としての住民との対話(請願・陳情対応、住民からの相談対応、情報収集、広報活動)
- 公的行事への出席など

③

- ・ 政党活動・選挙活動・後援会活動
- ・ 私人としての活動等

若者の視点 尚網大学生によるレポート 34

オンライン議会傍聴の感想 令和5年第4回大津町議会定例会をオンライン傍聴し、その後教室で3つの班に分かれてグループディスカッションを行いました。



高浪、岩元、杉本、上杉、竹財グループ

全体の感想

- 具体例を出して話している人が多く、聞きやすかった。
- 町の問題に真摯に向き合っている姿勢が伝わり、聞いている側も真剣に考えることができた。

改善した方が 良い点

- 動画配信のプラットフォームが使いにくい。機能が限定されているため、YouTubeなどで配信できるならばそちらの方が聴きやすいと思われる。
- 音質が悪く、聞にくい箇所がある。

特に印象に残った議題

- ①田代議員 「指定ゴミ袋について」
- ②山部議員 「オーガニック給食を子どもたちへ」

越前谷、大川、手嶋、打出、坂上グループグループ

印象に残った 質問と感想

- 平日の家族旅行、学校休んでOKにすべきかについて、制度として作っておくのはいいと思う。使いたいと思う家族は自由に使うことができるし、使わなくてもいいとしてまず制度があったほうがよい。
- 学校給食の無償化について、まず、段階的に貧困家庭や兄弟が多い家族などを対象として無償化を始めるとうい。その後、予算に余裕が出てきたら対象を広げていけばよいと考える。

城、上田、加藤、田中、川口グループ

印象に残った 質問と感想

「指定ゴミ袋について」：買ったものをゴミ袋に入れるのは躊躇するという意見が挙がった。

提 案

- 中身が見えにくい透けない素材にする。
- 指定ゴミ袋と分かるマークを作り、ワンポイントのシンプルなデザインにする、もしくは持ち手のところに「指定ゴミ袋」などと載せる。

印象に残った 質問

「オーガニック給食を子どもたちへ」：安心安全ではあるが、給食費用上昇の懸念がある。

また、変形や虫食いなどで食品ロスの増加を促してしまう可能性もある。

提 案

- オーガニックにしても、不揃いやスーパーには出せないものを安く仕入れる→給食費削減につながるのでは？

大津高校生との意見交換会

R5.12.21 大津高校生と議会だより」の改善に向けた意見交換をしました。
今号に反映しています。



● 参加の生徒は7人

- | | | |
|----|----|------|
| 2年 | 矢野 | 維槻さん |
| 2年 | 内柴 | 更紗さん |
| 2年 | 田中 | 獅音さん |
| 2年 | 福島 | 星奈さん |
| 1年 | 中原 | 里菜さん |
| 1年 | 下川 | 有咲さん |
| 1年 | 尾上 | 智浩さん |

特集について

- 特集は、議会だよりの最初のページにあると読みやすい
- 特集の記事であることをわかりやすく工夫したほうが良い

巻末葉書について (現在は、9月と3月の2回)

- 年に2回ではなく4回全てにつけたほうが、その時の号の内容についての意見もくるのではないかと

一般質問や町のことについて

- 若年層にも読者を広げたいのであれば、若年層が身近に感じることや、その地域に関することを書いたらどうか
- イメージ図などではなく、現場の写真や地図・イラストのほうが、町を詳しく知らない人にもわかりやすいと思う

構成について

- 委員会レポートや一般質問のページに変化がないのでメリハリをつけて内容の違いがわかるようにした方がいいのではないかと
- 縦書きが多いので、横書きにしてはどうか
- 綴じてないのでバラバラになる

その他

- 難しい漢字はわざわざ調べて読むことはないため注釈などあったほうが良い
- 料理の写真はQRコードなどで作り方など入れてはどうか
- 豆知識や4コマまんがなどがあると親近感がわく

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	梶原 剛雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 貴二	豊瀬 和久	山本富天	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀賢	時松 智弘	田代 元氣	大村裕一郎	賛成 ○	反対 ●
下水道条例の一部を改正する条例	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	4
農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	4

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
 ■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) ▲は(棄権) △は(欠席)
 その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

議会活性化特別委員会

Café de 議会

高校生との意見交換会

大学生レポート

定例会総括

委員会レポート

一般質問

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました



12月定例会の議案等は
 予算……………8件
 決算……………6件
 条例……………1件
 人事……………3件

19億473万円を追加し
 総額209億5521万円

pick up 1 駅周辺バス転回広場整備事業

4億2,240万円



5年程前から朝夕大津駅まで子どもの送迎をしています。以前から渋滞だけでなく、事故が起きるのではと危惧していました。これから人の行き来も増えまし、早急な駅周辺整備を期待しています。

美咲野1丁目区長 清原 さおりさん

pick up 2 工業団地整備費関連

11億2,779万円



TSMC(台湾積体回路製造)はじめ多くの企業進出により、現在大津町は大きく変化しています。護国校区でも今後、工業団地整備事業や(仮)大津西IC設置が計画されており、子ども達の交通安全や生活への影響を心配する声を耳にする事が増えました。

護国小学校PTA会長 城本 貴文さん

pick up 3 条例改正 公共下水道使用料

※詳しくは「広報おおつ」1月号 4・5Pをご覧ください。



「広報おおつ」1月号 P4~5はこちら

15%値上げ

※訂正

105号18ページ

「翔陽高校生 大津町議会傍聴に」の小川結花さんと前田成斗さんのふりがなが間違っておりまして。正しくは右記のとおりです。訂正しお詫び申し上げます。
 誤) おがわゆか → おがわゆいか
 まえだせいと → まえだなりと

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)



山部良二議員

問 昨今、食品等の値上げが続いている状況で、下水道料金の値上げに踏み切るのは町民の理解を得られないのではないか。一般家庭だと料金改定でどれくらい上がるのか。

答 一般家庭でおおよそ月額2200円が2520円になると算定している。



荒木俊彦議員

問 来年、下水道事業経営戦略の見直しが予定されている。町民が納得できるような説明責任を果たした上で、値上げに踏み切るべきではないか。

答 今回値上げしますので、次に料金改定をする分に関しては下水道事業経営戦略の中で説明したい。



山本富二夫議員

問 下水道料金は他市町村に比べ、随分安い料金なので、料金改定をして健全な経営に持たなければいけないが改定についてはもう少し詳しい内容を、広報等で町民に示していくべきではないか。

答 広報等で周知を図ってきたい。



佐藤真一議員

問 下水道・農集の使用料値上げ、下水道事業運営審議会での議論と平行して町民に周知することを求めているがなされていない。11月広報誌の記事は審議会答申の紹介にすぎず、町として値上げの内容をきちんと町民に示した上で条例改正を提案すべき。

答 審議会答申を重く受け止め、町として庁内で決定したものと提案している。町民には今後も広報誌等で説明していきたい。



永田和彦議員

問 学童保育施設指定管理者の選定方法として、よりよきサービスや価格競争を促さなければならない。選定方法を公募で実施したが、今までの指定管理者がそのまま今後5年間指定管理者になる。公募が最善の方法だったのか。

答 これまでは町内の業者に限定して公募をしていたが、今回は競争性を図るべきとの観点から、県内の業者に広げて公募した。一定の緊張感を生まれたと思う。



時松智弘議員

問 新聞報道で肥後大津駅北口にバスや乗用車が転回できるスペースを確保するとあり、美咲野地区をはじめ通勤通学の送迎をする北部の住民は期待を寄せている。整備の方向性は。またその指針の公表はいつごろか。

答 半導体関連企業従業員を含む様々な利用者を想定して検討する必要がある。今後、用地交渉などを進めていく中で、具体的な位置などを検討していく。進捗状況などについては、肥後大津駅周辺まちづくり会議などでお示していきたい。



豊瀬和久議員

問 道路整備計画は町全体の計画なのか。計画を実行していくためのノウハウを持った職員の体制整備はできているのか。

答 今後、町全体の道路整備をつくっていくと考えると、開発が進む中で、日常的に相談業務が多く通常業務が出来ない状況を十分把握しているため早期に対応したい。



田代元氣議員

問 運送事業者への支援について、タクシーや代行業者、白ナンバーのトラックで事業を行う人も燃料高騰で大変苦慮している。タクシー、代行業者やごみ収集車など白ナンバーで事業をしている方も町の経済に寄与していると考え、支援を行わないのか。

答 タクシーや代行業者へは国と県が支援するので町としては対象とはしていない。また、今回は営業ナンバーの貨物と限定している。白ナンバーの事業者については自社の荷物を運んでいるという考えのため、自社で価格転嫁を行い努力して頂きたい。

議会活性化特別委員会

Café de 議会

高校生との意見交換会

大学生レポート

定例会総括

委員会レポート

一般質問

経済建設委員会 レポート

インフラの行く末は



◎ 下水道料金改定は
累積の債務があるの
で料金改定は必須だと理
解しているが、昨今の物
価高で下水道料金を上げ
るのは苦しいところであ
る。しかし、受益者負担
が原則ではあるが、一般
会計からの繰り入れがあ
るといふことは、全町民
からの税金で担っている
という事であり、この構
造を改善する必要性を示
すべきではないか。

▲ 下水道経営の根幹は
受益者負担が原則ですの
で、一般会計からの繰り入
れをなくすためにも下水
道料金改定を行うことが
最優先だと考えている。

◎ 町道延伸について
新設延伸する計画の
ある町道杉水水迫線につ
いて、起点側と町道杉水
大津線との交差点ではか
なり的高低差があり、道
路勾配がきつくなると思
われるが大丈夫なのか。

▲ 高低差があるので、
安全な勾配を確保するた
め、距離を長く設定し
カブさせるなど対応す
る必要がある。概略設計
の中で最適なルートを選
定していく。



文教厚生委員会 レポート

サービス向上と迅速な対応を

◎ 新たなサービスの提供を
児童保育施設の指定
管理者の公募において、
競争がなく新たなサービ
スの提供が阻害されてし
まう。公募方法に問題は
なかったのか。

▲ 公募方法については
町内から県内に範囲を広
げ、現在の指定管理者と
別の1事業者が見学会に
参加されたため、これま
での指定管理者が今まで
以上に緊張感を持ち申
請、提案されたと考えて
いる。



桑善区が作成、掲示する横断幕

◎ 迅速な対応を
オリンピック出場に
対する横断幕の作成につ
いて、当初予算で計上し
ていれば迅速に対応でき
たのではないか。

また、横断幕作成につ
いての基準はあるのか。

▲ 出場が内定された本
人より正式に出場決定し
てからという意向があ
り、補正で計上させて頂
いた。各要綱があり、基
準に基づき作成してい
る。

◎ 意見 世界大会以外でも
作成に値するものもあ
る。臨機応変に対応でき
る体制をお願いする。

委員会レポート

文教厚生



経済建設



総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

総務委員会 レポート

人口増加に対応を



最終処分場の残余年数が重要

◎ クリーンの森合志のキャパシティは
人口増加に伴い、菊
池広域連合「クリーンの
森合志」の施設の余力は
大丈夫か。

▲ 菊池広域連合の環境
施設課長と話した際、現
在のところは処理能力に
問題はないが、今後も構
成4市町では目まぐるしく
開発が行われていき、
人口もごみも増えていく
事になるので注視してい
ると聞いた。
今後も広域連合と連携
を密にしながら状況を確
認していく。

**◎ 妊娠した人の
妊婦申請の工夫は**
国民健康保険税の減
免申請を出産被保険者が
申し出る際、妊娠した人に
負担がかからないようフ
ンストップサービスのよう
な対応は出来るか。

▲ 妊娠した人への配慮
については、今回条例で
新たに、町長が妊娠時の
届け出やその他書類で必
要事項の確認ができれば
職権により税の減免の届
け出を省略できるとして
いる。
税減免の対象者情報の
把握は母子手帳を交付す
る健康保険課母子保健係
と連携を強化する。



免除制度の内容はこちら

母子健康手帳交付時に一括支援を

※ 訂正
105号 4ページ

総務委員会
外国人の納税について未納を防ぐ周知手段は の記載に誤りがありました。
誤) 外国人全体の町税の未払いは年 20 万円
正) 外国人全体の不能欠損額は年 20 万円 に訂正しお詫び申し上げます。

Q 第二給食センター建設と給食の無料化を

A 建て替えも含めた対応が今後10年の内に必要だ



学校給食センター

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



Q 大津町給食センターは米飯とパンは外部からの仕入れである。生徒数の増加が考えられる。第二給食センターを建設し地産地消の取り組みをし、大津町産の米や小麦や野菜等にすべきだ。日本近海で紛争が起きたら、直ぐに日本は食糧危機になる。民間給食会社が倒産した問題もある。その為にも一年間の米の使用量45トンの確保は町ですべきだ。一番困るのは給食を食べてる子どもたちだ。大津町産の安心安全な食材の確保に早めに取り組むべきだ。

給食費の無償化について、子どもの少子化対策が叫ばれている。県内でも、無償化に十四市町村が取り組みだした。町も取り組むべきだ。
A 給食センターは築三十三年が経過した。衛生管理基準の改定に対応できない面もある。建て替えを含めた対応が今後十年以内に必要だ。米飯も施設整備と併せて検討を指示。給食費の無償化には、一年間で二億五千万円の費用がかかる。今は大津中学校などの改修事業の整備に優先的に取り組んでいく。(町長)

その他の質問

- ・農工商併進のバランスのとれた対策を今後計画し進めるのか。
- ・平日の家族旅行、学校休んでOKの取り組みをすべきだ。

Q 財源確保と利便性向上を

A 関係団体と協議し進めていく



たしろ げんき
田代 元気議員



Q 新たな財源確保の取り組みとして、指定ごみ袋に広告を募集している自治体が増えている。この、広告掲載事業を行うことは新たな財源確保の他、広告掲載する企業のイメージアップにも繋がるかと考えるが、本町でも取り組む考えはないか。

A ごみ袋に広告を掲載することは新たな財源確保の取り組みのほか、住民サービスの向上、地域経済の活性化を図る取り組みとして、有効であると考える。先進事例を研究し、予想される広告主にニーズ調査を行い、町の要綱に基づき事業を進めていきたい。

その他の質問

- ・中学校部活動の地域移行について

一般質問 町政を問う 12月定例会 / 一般質問に16名中11名が登壇

Q 手話言語条例が必要

A 今年度末を目標に議案として上程したい



とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



Q 大津町では、手話の普及啓発活動が積極的に進められており、手話が着実に広がっている。現在、障がい者基本計画の見直しを行っているが、その計画を具体的に推進していくとともに、幅広い理解を深めていくためにも、手話言語条例の制定が必要だ。また、条例の制定と合わせて手話講座を開催していくことが重要だ。

A 条例を制定すること目的とならないように、条例とその施策の評価マネジメントにより、定期的、継続的な有効性の検証や見直しを行うことが出来る体制を検討したうえで、今年度末を目標に議案として上程したい。
同時に、手話言語などの特性に応じた意思疎通手段への理解向上や、合理的配慮の促進に向けた取り組みも展開したい。(町長)

[やさしさの特集] ありがとうの伝え方を掲載した広報おおつ

その他の質問

- ・乗合タクシーの運行エリア拡充
- ・都市計画マスタープランの見直し
- ・带状疱疹の早期治療と予防について
- ・大津町運動公園改革
- ・視覚障がい者のための音声コード

Q こども基本法に基づきこどもの提案の尊重を

A 提案を町の政策に生かす場合も当然にある事



威風堂々たる充実した質問は答弁に必ず反映される

ときまつ とむひろ
時松 智弘議員



Q ジュニアリーダー夢議会で学生議員が質問を行った。関心を持つ話題や学習の成果をエビデンスとして練り上げられ、素晴らしい政策提言だ。これらの提案を行事として終わらせるには誠に惜しく、政策に反映すれば、こどもたちの意思尊重にもつながる。

A 生徒の提案を、全ての実行の担保は出来ないが、内容によっては、今後の町の政策に生かされていく場合も当然にあると考える。
こども基本法において、こども施策に対し、こどもたちの意見の反映が求められており、意見を聞く場を設ける。(町長) 学習の中で、こどもたちの意見を町部局や教育委員会に提案してもらうことは可能と考える。こどもたちの学びへの意欲にもつながる。そのような教育活動の推進を進めていきたい。(教育長)

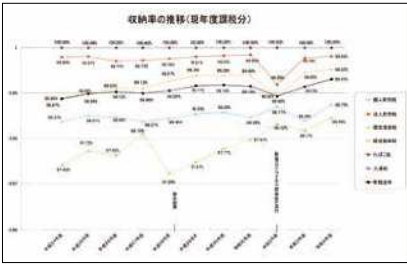
その他の質問

- ・公共施設の名称統一について
- ・有害鳥獣情報の有効活用について

Q 今後増えていく税収の行先は

A まちづくりの中で還元していく必要があると考えている

おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



Q 5月開催の町民懇談会で町長から「増えた税収は住民サービスに活かす」と明言されている。しかし、具体的な部分は出されていない。そして、町民からは企業の立地について「渋滞が悪化するだけ」との声も聞こえてきている。これは企業立地が与えるプラスの影響より渋滞というマイナスが目立っているからではないかと考える。

増えた税収は中心部だけでなく北部や南部、またそのエリアの中心的な産業である農業にも分配すべきだと考える。A 増えた税収分は町のあらゆる分野と地域、さらに将来世代も含めた全体的なまちづくりの中で還元していく事が必要だと考えている。当然農業も含まれている。北部地域は中九州横断道路の事業化により、北側復旧道路への接続も想定されるため、これらを活用した北部地域の振興の検討が必要である。南部地域も空港アクセス道路の開通に合わせて、必要なインフラ整備や、これらを活用した南部地域の振興を図っていききたい。

その他の質問
・渋滞対策について

Q これから先の大津町の祭りについて

A 必要経費は増額、組織体制は協議

にしかわ ひでつぐ
西川 秀貞議員



大津地蔵祭り

Q 1850年から続く大津地蔵祭り、ここ数年の状況からして、実行委員会だけの力では、限界が来ている。協賛金においても限界があり、予算面でも厳しい状況である。

A 地蔵祭りを未来の子どもたちに残していかなければならない。必要な経費について、今年度は、事前協議のうえ増額した。今後の経費と組織体制については、商工会、実行委員会と協議していく。(町長)

その他の質問
・町の補助金のあり方について
・医療機関への支援について

Q 美咲野交差点付近の渋滞・交通事故予防は町の責任

A 渋滞と安全対策を検証し、物流産業道路も検討していく

あらかし としひこ
荒木 俊彦議員



美咲野交差点 (通称) 現在4差路の交差点は美咲野団地が開発されるまで3差路でした。歴史的名称として「桜山交差点」と呼ばれていた。付近に桜の木がたくさん植栽され、町の人の花見でにぎわっていたと記録されている。

その他の質問
・町道路行政の不作為と言える都市計画道路の反省
・ケアー屋さん北側の町道閉鎖部分の活用策

Q 美咲野交差点とケアー屋さん東の三差路交差点は、渋滞と交通事故が頻発している。この三差路は信号も横断歩道設置もできない非常に危険な交差点。東側にコンビニも新設されている。TSMC(台湾積体電子製造)関連で熊本市方面から高規格道路が325号の杉水交差点まで開通すれば、特に大型貨物車両が、二つの交差点に集中し、高尾野の北回り復旧道路インターへの通行が激増することは明らかである。

A 美咲野交差点付近の渋滞は、議員ご指摘の通り、朝夕の渋滞が常態化している。交通事故については、防護柵と反射材の設置後は発生していないが、今後も有効な方法がないか、警察とも協議していく。渋滞対策として交通量調査・信号制御の時間変更などで、渋滞解消効果を検証し、警察との協議も始めている。近隣の交通量・住宅開発等のデータも分析し、道路幅員、交差点改良や新設道路の検討をおこなう。物流産業交通としての迂回路の必要性などについても、この計画の中で検討する。(町長)

Q 誰1人取り残さないまちづくりを

A 実現可能な対策を障がい者と共に考えていく

やまべ りょうじ
山部 良二議員



- バリアフリー階段手すり設置の要点
- (1) 点字ブロックの設置
 - (2) 段の色や材質の変化 (視覚的な区別)
 - (3) 滑り止め加工
 - (4) 視認性の確保 (反射材の利用)



美咲野 3丁目の階段



肥後大津駅



美咲野 1丁目の階段

その他の質問
* 「オーガニック給食を子供たちに」について
* 「教職員も含む職員の長時間労働の是正について」

Q 事業者や自治会等の合理的配慮の提供が義務化される。これに伴い、町による助成制度が必要ではないか。また下肢の不自由な高齢者の方から段差や傾斜のある階段は危険で怖いが回覧板などを回すときにどうしても通らなければならぬので改善してほしいと相談があったが、障がいのある方々の障壁を取り除くための対応、対策を問う。

A 障がいのある方や行政機関、事業者・地域住民など、様々な関係者の建設的な対話による協力と合意により、共生社会の実現という共通の目標に向け、実際にはどのような支援が必要になるのかを見極め、たううえで実現に即した取り組みを推進していく。また道路関係の整備については、危険度の整備について優先順位をつけて整備を行っていく。また指輪のあった階段の手すりの設置は今年度に対応する。(町長)

環境アセスメントについて 貯蓄から投資へについて



ながた かずひこ
永田 和彦議員

国民の生命と財産を守るのが政治



論点

○半導体製造による環境への影響や安全性に不安が残るまま、国は今後の経済予測を踏まえて半導体産業への多大な投資を決定しているが、国や県は環境アセスメントを行っていないので地域住民の安全性は確保されていない。

○半導体関連企業への町による環境アセスメントの確立は町民を守るためには必須である。

論点

○そもそも国が誘導するものではない。確実に利益を出すのは金融業界。銀行や証券会社である。

○為替に対する理解、株に関する理解が無い国民に対し財産を投資しなさいは大きな矛盾で、経済動向や企業の業績変化などの不確定要素が絡む株式投資において必勝法はない。

切り取ってお出ください

郵便はがき

料金受取人私郵便
8 6 9 - 1 2 9 0

大津局
承認
702

(受取人)
大津町大字大津1233番地

差出有効期間
2024年5月14
日まで
※住所は必ずお間違いなく

大津町役場 議会事務局
議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

ご住所

お電話 () - () - ()

次回定例会は
3月1日(金)開催予定
(日程は変更になる場合があります)
日程 3月1日(金)～19日(火) (予定)
会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会
編集: (委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委員) 時松 智弘 / 田代 元氣 / 大村 裕一郎
発行責任者: (議長) 桐原 則雄

編集後記

12月定例会での文教厚生委員会は、オンライン会議で開催され議員1名が在宅で出席しました。
採決を含む議案審議をオンライン化したのは初めてでしたが、音声・映像ともに問題なく議案の質疑、討論、採決までスムーズに審議することができました。

9月定例会では、私自身が新型コロナウイルス感染で出席できなかった本会議のオンライン開催を見据え、積極的にオンラインの活用に取り組んでいくと同時に「効率化」や「利便性向上」ということだけではなく、デジタル技術で弱者を救う「デジタルインクルージョン」という発想を持ってデジタル化に取り組んでいきたいと思っております。(豊瀬 和久)

令和6年2月1日 第106号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会
編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 株式会社キャップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

指定文化財、地域の活性化

A 地域の誇りと賑わい



さかもと のりみつ
坂本 典光議員



円満寺 摩利支天堂

その他の質問

- 過去の広報誌の目次一覧の作成
- 上鶴を流れる水路(ろくそう井手)の雑草伐採

国内で文化財を地域の活性化と観光に活用しようという動きがある。大津町には国の重要文化財として江藤家住宅があり、町の指定文化財は一五ある。中部、南部に比べて北部は少ない。

矢護山の麓に無動寺跡があるが無動寺は比叡山延暦寺の末寺であった。そこにあった不動明王が矢護川の円満寺に残されている。

真木にはかつての合志郡一帯を支配した合志一族の守り神といわれる摩利支天像が祀られている。ともに時代のストーリー性のある像である。

A 山都町の通潤橋が国宝に指定されたら、多くの観光客が訪れた。これは町指定の文化財にも当てはまると思う。町は地域の誇りや賑わいの向上を図っていく。(町長)

北部の無動寺跡や円満寺、摩利支天などは、鎌倉時代に遡る大津町の初めの頃に開けるストーリーでもあり、個々に文化財を語るよりも大変興味も理解も深まる気がする。(教育長)

町内公園の安心して過ごせる環境づくり

A 時期を見て検討する



さんのみや みか
三宮 美香議員



かぶとむし公園の女子トイレ(和式のみ)

その他の質問

- 子育てしやすいまちづくり、各団体・組織の連携と子育て・健康センター

町内の公園、特に子どもたちが遊ぶ頻度が高いかぶとむし公園と中央公園の管理状況に心配な点がある。

かぶとむし公園の樹木を伐採した後の切り株がぼろぼろの状況で、返って危ない状況ではないか。また、かぶとむし公園のトイレは男女とも和式しかなく、多目的トイレは天井に穴が空いている。中央公園のトイレは

男子用は和式しかなく、女子用は洋式はあるが幼児には使いにくい作りになっている。安心して過ごせる環境づくりの配慮が必要ではないか。

A かぶとむし公園の切り株については安全面に配慮し撤去する。トイレの屋根は修理見積を依頼中。トイレの洋式化や子ども用トイレについては時期を見て検討する。(都市整備部長)

議案特化特別委員会

Cafe de 議会

高校生の意見交換会

大学生レポート

定例会総括

委員会レポート

一般質問